

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800259		
法人名	株式会社 クオス		
事業所名	グループホーム ほのかの里 A棟		
所在地	夕張郡栗山町桜丘1丁目80		
自己評価作成日	平成30年3月10日	評価結果市町村受理日	平成30年4月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail.2017.022_kan=true&JigyosyoCd=0175800358-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成30年3月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者が自尊心やプライバシーを維持しながら本来その方が持っている残存機能を生かし「その人らしく」生活を送る事が出来る様に努めています。又は四季に応じてホーム主催や地域の方が参加できる行事に地域の方が参加して頂ける事で地域の人達からも信頼されるホームを目標にしています。隣にデイサービスに併設されており時々交流を持っています。又災害時や緊急時に対しての支援体制が整備されています。又、職員は試行錯誤を重ねながら気付きや学びをしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホーム ほのかの里」は、栗山公園近くの自然環境に恵まれた静かな住宅地に立地している。近隣の花壇を見ながら散歩したり、近所の飼い犬や猫と触れ合い一緒に写真を撮るなど日常的に近隣住民と交流している。事業所の夏祭りに地域住民から出店の手伝いを受けたり、避難訓練に参加してもらうなど日頃から協力的体制を築いている。天気のよい日は積極的にドライブに出かけたり、栗山公園の桜や紅葉を見て四季の移り変わりを身近に感じている。栗山天満宮例大祭では、お神酒を味わいながら地域の方々や交流している。また、白鳥見学や林檎狩りにも出かけている。毎月、表情豊かな写真とコメントを入れた個別の「ほのかの里だより」を家族に送付して利用者の様子を伝えている。モニタリングは援助内容に沿って3か月毎に詳細に評価を行い、6か月毎の介護計画の見直しに活かしている。受診は全て事業所に対応しており、主治医と詳細に情報交換しながら適切な医療が受けられるように支援している。今年度は、訪問診療医師や看護師から看取り対応について学び、家族の意向に沿って看取りにも取り組んでいる。利用者と一緒に家庭菜園をして、トマトや枝豆など多くの野菜を収穫して毎日の食事に彩りを添えて美味しい食事を提供している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(A棟)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念はホーム内に掲示しています。その理念を意識しながら日々の業務をしています。	地域密着型を意識して、運営理念に「地域とともに」という文言を入れている。新しい職員が入った時に全職員で確認しているが、普段は振り返る機会が少ないので、今後はミーティングなどで年1回は全職員で再確認する予定である。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	天気の良い時に散歩している際に地域の方が挨拶以外に声を掛けて頂いている。	近隣から花や野菜を戴いたり、事業所の夏祭りには地域の方に出店を手伝ってもらっている。クリスマス会に踊りのボランティアが来訪したり、職員の子供と触れ合う機会もある。研修医の実習生を受け入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進委員会を通じて認知症に対する知識や対応に理解を深めています。又認知症に対する研修を地域の方に参加を促しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的(年6回)に運営推進会議を開催しています。	感染症予防対策や防災計画などをテーマに開催したこともあるが、ここ1年は殆ど事業所からの報告になっている。会議案内と議事録は送付しているが、家族の参加は殆ど得られていない。	全家族にテーマを記載した会議案内を送付し、テーマに沿った質問や意見などを事前に聞き取り、参加できない家族の意見も会議に活かすよう期待したい。また、テーマに沿った資料も送付するよう期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護計画に必要な書類申請を窓口へ提出したり、書類上の確認などで相談したり、連携をしております。	認知症サポーター養成講座の開催について相談したり、介護認定申請時に主治医意見書の提出でアドバイスを受けている。管理者は、分からないことがあれば電話で役場に相談しているが、事務的なことは本部が中心になって連絡を取っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていません。玄関の日中も非常時以外せずに過ごしています。	「身体拘束マニュアル」を整備し、「禁止の対象となる具体的な行為」を事務所などに掲示して日頃から職員に意識づけしている。転倒防止のため夜間帯などにベッド柵を使用することもあるが、部分的な柵にして自由に出入りができるように配慮している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待につながる危険性のあるケアについて、職員の間で話し合い、注意し予防に努めております。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(A棟)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	役所が開催する研修に定期的に参加させて頂き、資料を通じて職員同士で情報を共有しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時にご本人、ご家族に重要事項の説明をしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご本人、ご家族の意見、要望、不満などがあれば、その都度記録している。入居者様に何か有ればその都度ご連絡している。又家族が来訪した際も訪ねやすい対応を心掛けております。	面会時や電話で意見や要望を聞き取るようにしている。何かあれば付箋に記入して、各職員がすぐ目につくように掲示している。今後は継続して情報が共有できるように付箋を整理したり、記録に残していきたいと考えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議の議題の他に職員の要望や意見を聞いて、集約し代表者に報告しております。	新しい入居者が入った時や転倒事故防止などについて全職員でユニット会議を開催したが、殆どは当日の出勤者での会議が多い。今後は年数回勉強会なども計画しながら、全員でのユニット会議を継続的に実施したいと考えている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務表は各職員の希望を聴いて作成しています。都合があればお互いさまで臨機応変に勤務調整を行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員同士の話し合いについては定期的又は問題が起きた時に開催し、解決に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修や内部研修に参加することで交流を図りケアの質を高めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(A棟)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新しい環境での生活はご本人には不安でいっぱいです。その気持ちに共感しながら安心できる関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用前の見学を通じてご家族との関係づくりもできていると思います。ご家族からの要望があればすぐに反映できるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	意向、要望に沿えるように、支援内容を考え、早く馴染める環境になるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に暮らすことで、出来ることは、お手伝いしていただいたり、話に傾聴することで、安心されている。行事なども一緒に楽しんでおります。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の来訪時はご本人の話を傾聴することで、落ち着いた様子、その姿勢に職員も学ぶ事もあります。共に支え合う関係づくりを築いていきたいと思っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、ご兄弟など遠方からの来訪もあり、賑やかで楽しい時間を過ごされています。	近所に住んでいた方が訪ねて来たり、年賀状が届く利用者もいる。職員と一緒に近くのホームセンターに買い物に出かけている。家族と墓参りに出かけた後、自宅に帰ることもある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	心身の状態や気分、感情で毎日が変わるので、職員は日々情報を共有し注意深くみまもることに心掛けております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(A棟)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	具体的に相談、支援を行った事例はありません。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の会話を通じてご本人の思いをくみ取るよう努めています。	家族と話している様子や普段の表情などから思いや意向を把握している。6か月毎に課題分析シートを作成しているが、趣味や嗜好などの情報把握が十分できているとは言えない。	課題分析シートに趣味や嗜好などの項目を追加して、現在の思いや意向を把握するよう期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	どのような人生を歩んできたのかに思いをはせて共感しながらご本人の声を傾聴しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の心身の状態把握に努めています。特に認知症状の把握に努め心穏やかに過ごすよう取り組んでいます。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の情報の共有に努め、各職員の声が介護計画に反映できるよう努めています。	3か月毎に援助内容に沿って評価を行い、6か月毎に介護計画を作成している。家族と一緒に利用者にも介護計画を説明している。援助内容に沿って、全職員が変化や課題を「介護経過記録」に記入できるように検討したいと考えている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、個別記録を記入する中で職員間で情報の共有に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様の状態に合わせて、その時その時に必要な柔軟な対応を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近くの公園に散歩したり地域のお祭りに参加する機会などを作っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	町内の総合病院又は整形外科、眼科等は利用者に必要な医療機関で利用しています。又かかりつけ医が町外の方がおり、その方は家族が対応しております。	訪問診療による往診を受診している方も数人いるが、殆ど協力医療機関で診察を受けている。事業所で受診支援をして主治医に詳細に健康状態を伝えている。受診、往診は個別に記録している。	

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(A棟)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が定期的に訪れております。状態の変化がある方はその都度、相談しており、アドバイスを頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にダメージが最小限に留まるように病院関係者と情報交換を行っております。又、早期退院に向けて、情報共有に努め、話し合いをしております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に「重度化対応、終末期ケア対応指針」説明しご家族、ご本人より同意を得ております。看取りの経験がありますが、職員は勉強会や研修会に参加してよりよい対応ができるようにしたいと考えています。	利用開始時に重度化・終末期ケア対応指針に沿って説明し、経口摂取ができなくなった場合は事業所での対応は難しいことを伝えている。今年度、訪問診療医師と看護師から看取り対応について学びながら看取りを行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日ごろから、入居者の身体状態を把握し職員同士話しあっております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の避難訓練時を日中、夜間想定で行っています。	年2回消防署の協力の下、地域住民の参加を得て昼夜の火災を想定した避難訓練を実施している。地震に備えて家具類の転倒防止策を講じている。地震時のケア別の対応については、今後職員間で検討したいと考えている。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	基本理念をケアに反映させ、さりげないケアを心がけております。ケアの更新情報は掲示板を通じて反映しています。	代表者から言葉遣いについて話し合うように意見があり、ミーティング時に接遇で他者が聞いて不快に感じる言葉を使わないように確認している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段の生活の場面の中で少しでも自己選択を促しながら自己決定に繋げています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調や、気分を把握しその方の意見を尊重し過ごしていただいております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪型や服装等の身だしなみはご本人に確認しながらさりげなく支援しております。こだわりなどもご本人の気持ちを尊重しております		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(A棟)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好きな食べ物は何かご家族からお聞きしてお誕生日の献立に入れたりしています。盛り付けの工夫、楽しい会話など雰囲気作りの努めています。	利用者の好みそうな刺身、ちらし寿司、赤飯などを献立に入れて提供している。誕生日は手作りケーキでおやつ時にお祝いしている。畑の野菜を利用者と一緒に収穫し、食卓に添えて楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や栄養バランスを考慮し、その方の状況により、お粥やペースト食、刻み食を提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に声掛け、促しを行い、介助が必要な方は職員が行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご本人の身体能力により個々に対応しております。尿意や便意がある方はその都度対応し排泄間隔や排泄パターンのある方は随時対応しております。	誘導や介助が必要な方の記録を行い、パターンに合わせてトイレで排泄を支援し失禁を少なくしている。3割の方は自力で出来ている。排泄の声かけや職員間の情報確認で、直接的な言葉遣いが見受けられる。	排泄の声かけや確認は利用者の羞恥心に配慮し、言葉の言い換えの工夫や声のトーンにも注意するなど全職員で学ぶ機会を期待したい。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤も服用しますが、できるだけ自然排便できるようにヨーグルト、お茶などを提供したり体操など体を動かす関わりをしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	体調や気分をみながら希望の時間に心地よく入浴できるように支援しています。自分で出来る範囲で自分で洗って頂いております。	利用者の状態で入浴順番を工夫している。希望に沿ってシャワー浴や利用者が安心できる職員が介助したり、2人介助で湯船に浸かれるように対応している。利用者に合わせて週2回の入浴を支援し、入浴中に懐かしい曲を歌い楽しむ方もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の生活リズムに合わせて休んでいただけるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の処方薬の目的・副作用・用法・用量を確認し正しく理解できるように努めております。処方薬が変更時は体調の変化の観察を行い、医療機関の受診につなげております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中でもやしのひげ取り、テーブル拭き、洗濯物たたみなど出来る範囲でお手伝いをいただいております。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(A棟)		外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の天候具合や入居者様の体調をみながら日常的に散歩に出かけております。車椅子の方を入居様が押してくれたり、共に支え出かけている支援をしております。	周囲の散歩中に近所の飼い犬や猫と触れ合い、玄関先や前の東屋で休憩し、車椅子利用者も一緒に戸外に出ている。栗山公園で花見や散歩を楽しむ、夕張方面で紅葉や林檎狩りに出かけるなど、撮影を兼ねて外気に触れる機会が多い。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理を出来る方がいないのが現状です。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族から電話がきたときご本人にも電話に出てもらい支援しています。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は静かにゆったりと明るく居心地の良い空間作りに努めております。リビングから見える景色で季節の移り変わりを感じ、春になると小鳥が窓辺まで来て、驚いたりすることもあります。	居間は食堂と別に、ゆったりとしたソファが配置しており、窓から日が入り居心地よい空間になっている。トイレや浴室は居間から離れた場所にあり、プライバシーに配慮した造りになっている。利用者が布で葉を縫い、組み合わせて作った観葉植物風の作品も飾られている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食席やリビングの座る場所は決まった場所に座ることで落ち着いています。各自の居室では休息したり、思い思いに過ごしております。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	私物の家具や衣類、家族の写真やカレンダーを張ったり、ご本人のこだわりの物をご家族が選んで持ってきていております。	各居室に備え付けのクローゼットやベッド、温湿度計があり、馴染みの座椅子やタンスが持ち込まれている。小さなテーブルと椅子で塗り絵の制作や歴史本を読んだり、昇降運動器具を置き運動するなど関心事に沿った居室づくりになっている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各トイレ、浴室、廊下に手すりが設置されている。玄関には座れる長椅子や外にはスロープも設置されております。危険がないように物の配置に配慮しております。近くにある畑にもスロープを設置しております。			

ほのかの里
(別紙4-1)

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800259		
法人名	株式会社 クオス		
事業所名	グループホーム ほのかの里 B棟		
所在地	夕張郡栗山町桜丘1丁目80		
自己評価作成日	平成30年3月10日	評価結果市町村受理日	平成30年4月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者が自尊心やプライバシーを維持しながら本来その方が持っている残存機能を生かし「その人らしく」生活を送る事が出来る様に努めています。又は四季に応じてホーム主催や地域の方が参加できる行事に地域の方が参加して頂ける事で地域の人達からも信頼されるホームを目標にしています。隣にデイサービスに併設されており時々交流を持っています。又災害時や緊急時に対する支援体制が整備されています。又、職員は試行錯誤を重ねながら気付きや学びをしています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.hlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail.2017.022_kani=true&JigyosyoCd=0175800358-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	平成30年3月24日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(B棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念はホーム内に掲示しています。その理念を意識しながら日々の業務をしています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	天気の良い時に散歩している際に地域の方が挨拶以外に声を掛けて頂いている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進委員会を通じて認知症に対する知識や対応に理解を深めています。又認知症に対する研修を地域の方に参加を促しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的(年6回)に運営推進会議を開催しています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護計画に必要な書類申請を窓口に提出したり、書類上の確認などで相談したり、連携をしております。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていません。玄関の日中も非常時以外せずに過ごしています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待につながる危険性のあるケアについて、職員の間で話しあい、注意し予防に努めております。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(B棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	役所が開催する研修に定期的に参加させて頂き、資料を通じて職員同士で情報を共有しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時にご本人、ご家族に重要事項の説明をしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご本人、ご家族の意見、要望、不満などがあれば、その都度記録している。入居者様に何か有ればその都度ご連絡している。又家族が来訪した際も訪ねやすい対応を心掛けております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議の議題の他に職員の要望や意見を聞いて、集約し代表者に報告しております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務表は各職員の希望を聴いて作成しています。都合があればお互いさまで臨機応変に勤務調整を行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員同士の話し合いについては定期的又は問題が起きた時に開催し、解決に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修や内部研修に参加することで交流を図りケアの質を高めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(B棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新しい環境での生活はご本人には不安でいっぱいです。その気持ちに共感しながら安心できる関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用前の見学を通じてご家族との関係づくりもできていると思います。ご家族からの要望があればすぐに反映できるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	意向、要望に沿えるように、支援内容を考え、早く馴染める環境になるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に暮らすことで、出来ることは、お手伝いしていただいたり、話に傾聴することで、安心されている。行事なども一緒に楽しんでおります。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の来訪時はご本人の話を傾聴することで、落ち着いた様子、その姿勢に職員も学ぶ事もあります。共に支え合う関係づくりを築いていきたいと思っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、ご兄弟など遠方からの来訪もあり、賑やかで楽しい時間を過ごされています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	心身の状態や気分、感情で毎日が変わるので、職員は日々情報を共有し注意深くみまもることに心掛けております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(B棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	具体的に相談、支援を行った事例はありません。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の会話を通じてご本人の思いをくみ取るよう努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	どのような人生を歩んできたのかに思いをはせて共感しながらご本人の声を傾聴しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の心身の状態把握に努めています。特に認知症状の把握に努め心穏やかに過ごすよう取り組んでいます。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の情報の共有に努め、各職員の声が介護計画に反映できるよう努めています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、個別記録を記入する中で職員間で情報の共有に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様の状態に合わせて、その時その時に必要な柔軟な対応を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近くの公園に散歩したり地域のお祭りに参加する機会などを作っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	町内の総合病院又は整形外科、眼科等は利用者に必要な医療機関で利用しています。又かかりつけ医が町外の方がおり、その方は家族が対応しております。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(B棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が定期的に訪れております。状態の変化がある方はその都度、相談しており、アドバイスを頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にダメージが最小限に留まるように病院関係者と情報交換を行っております。又、早期退院に向けて、情報共有に努め、話し合いをしております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に「重度化対応、終末期ケア対応指針」説明しご家族、ご本人より同意を得ております。看取りの経験がありますが、職員は勉強会や研修会に参加してよりよい対応ができるようにしたいと考えています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日ごろから、入居者の身体状態を把握し職員同士話しあっております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の避難訓練時を日中、夜間想定で行っています。		

Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	基本理念をケアに反映させ、さりげないケアを心がけております。ケアの更新情報は掲示板を通じて反映しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段の生活の場面の中で少しでも自己選択を促しながら自己決定に繋げています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調や、気分を把握しその方の意見を尊重し過ごしていただいております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪型や服装等の身だしなみはご本人に確認しながらさりげなく支援しております。こだわりなどもご本人の気持ちを尊重しております		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(B棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	好きな食べ物は何かご家族からお聞きしてお誕生日の献立に入れたりしています。盛り付けの工夫、楽しい会話など雰囲気作りの努めています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や栄養バランスを考慮し、その方の状況により、お粥やペースト食、刻み食を提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に声掛け、促しを行い、介助が必要な方は職員が行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご本人の身体能力により個々に対応しております。尿意や便意がある方はその都度対応し排泄間隔や排泄パターンのある方は随時対応しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤も服用しますが、できるだけ自然排便できるようにヨーグルト、お茶などを提供したり体操など体を動かす関わりをしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	体調や気分をみながら希望の時間に心地よく入浴できるように支援しています。自分で出来る範囲で自分で洗って頂いております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の生活リズムに合わせて休んでいただけるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の処方薬の目的・副作用・用法・用量を確認し正しく理解できるように努めております。処方薬が変更時は体調の変化の観察を行い、医療機関の受診につなげております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中でもやしのひげ取り、テーブル拭き、洗濯物たたみなど出来る範囲でお手伝いをいただいております。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(B棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の天候具合や入居者様の体調をみながら日常的に散歩に出かけております。車椅子の方を入居者様が押してくれたり、共に支え出かけている支援をしております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理を出来る方がいないのが現状です。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族から電話がきたときご本人にも電話に出てもらい支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は静かにゆったりと明るく居心地の良い空間作りに努めております。リビングから見える景色で季節の移り変わりを感じ、春になると小鳥が窓辺まで来て、驚いたりすることもあります。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食席やリビングの座る場所は決まった場所に座ることで落ち着いています。各自の居室では休息したり、思い思いに過ごしております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	私物の家具や衣類、家族の写真やカレンダーを張ったり、ご本人のこだわる物をご家族が選んで持ってきていております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各トイレ、浴室、廊下に手すりが設置されている。玄関には座れる長椅子や外にはスロープも設置されております。危険がないように物の配置に配慮しております。近くにある畑にもスロープを設置しております。		

目標達成計画

事業所名 グループホームほのかの里

作成日：平成 30年 4月 10日

市町村受理日：平成 30年 4月 13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所理念はホーム内に掲示されているが、職員間で意識的に確認する機会を確保していない。	事業所理念を意識して日々の業務を実践する。	日々のミーティングの場を通じて職員間で理念を確認する。	1年
2	4	運営推進会議の議題(テーマ)が明確にされていない。また利用者の秘密保持が徹底されている議事録になっていない。	運営推進会議の議題(テーマ)を設定する。	運営推進会議開催前に議長が何を議題(テーマ)にするか担当者と打ち合わせを行う。議事録は利用者の秘密保持を守る書き方とする。	1年
3	26	ケアプランに基づいた介護記録が書かれていない。また生活の様子が分かるよう文章化されていない。	ケアプランに基づいた介護記録にする。	ケアプランに基づき日々の様子やケアの実践、気づきを文章化する。	1年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。